

発行 社会福祉法人けやき会 設立準備会
住所 新潟市西区上新栄町 3-4-83
電話 025-260-7798
※ このたよりは、会員の皆さんに発行しています

「こども輝き発達クリニックぱすてる」を見学

会員の皆様、地域の皆様、もうすぐ暑い夏がやってきます。水分補給を忘れず、無理しない生活で乗り切りましょう。

去る5月22日(日)に、江南区に今春オープンしたデイサービス「夢のみずうみ村」に併設された「医療法人社団こども輝き発達クリニックぱすてる」 院長 東篠恵医師 をけやき福祉会準備会のメンバー16名で見学してきました。

当日は休館日でしたが、東篠院長が朝早くからでむかえてくださり、館内の案内と説明をしてくださいました。

◆会田 きよみ

夢のみずうみ村感想

「夢のみずうみ村」は、併設施設に「生活介護いきいき」や「こども輝き発達クリニックぱすてる」、「児童発達支援ぴかぴか」を構え、東篠医師を理事長に迎えて展開しています。

「夢のみずうみ村」では、名称にもこだわりを感じました。「いきいき」や「ぴかぴか」は、どのような願いが込められているか分かりやすいですね。もう一つ、「ぱすてる」についてです。

障がいではなくハッキリとしていないが、日常生活に支障が生じ、そのために生きにくさを抱えている方がいます。福祉従事者は、そういった方を「グレー」と言っています。灰色＝曖昧という意味です。ところが東篠医師は、

「例え障がいが分かりにくくても、それはグレーではない。一人一人個性を持った方々だ。だからパステルなのだ。」とおっしゃっていました。パステルを後から調べてみると、淡い色彩という意味だそうです。つまり曖昧ではなく、一人一人きちんと色を帯びた個であるという意味が込められているのだと思います。これには、とても感銘を受けました。



「夢のみずうみ村」のリハビリ理念は、「みんな違ってみんないい」です。利用者の個性を大事にしながら、自主性を最大限尊重できるようになっています。例えば、大学の講義を自分で選択するようなイメージで、1日のデイサービスメニューを自分で選択します。施設内はひとつのバーチャルシティのようになっており、自由にその空間を楽しむことができます。しかし、きちんと動と静が分けられており、「動」で多くの刺激を取り入れることができるだけでなく、その刺激を体験として整理したり、刺激に疲れてパニックになったり不安が生じた方のために、「静」の空間も用意、演出されています。こういった空間の使い分けにも感銘を受けました。

既存の福祉施設とは一線を画す施設のため、ご興味のある方はぜひ一度ご見学に行ってみてください。きっと、わくわくするような新しい発見があると思います。この度、見学のお機会を提供して下さった「夢のみずうみ村」理事長東篠医師に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆板垣 龍介

ゆうやけこどもけやき食堂

第4回フードバンクにいがた総会 記念シンポジウム参加報告

「ゆうやけこどもけやき食堂」は、平成29年度（2017年）に同所に設立予定の社会福祉法人けやき会へとつなげていく一環の活動です。

去る5月19日（木）新潟市中央区の万代市民会館で「なぜ、いま、こども食堂なのか？」と題して（私たちができる支援は何か？）を考えるシンポジウムが市民130人ほどの参加で開催されました。

実際にこども食堂を開設している「ふじみこども食堂」（新潟市東区）と私たち西区の「ゆうやけこどもけやき食堂」の実例報告と大学で地域福祉を専門としている先生など6人から活動報告や提言が話されました。

＜パネラー＞ 立松有美さん（ふじみこども食堂代表）、会田きよみ（ゆうやけこどもけやき食堂代表）、佐野政光さん（新潟医療生協なじよも：こども食堂立上げ予定）、村山伸子さん（新潟県立大学健康栄養学科教授）、小池由佳さん（新潟県立大学子ども学科准教授）、篠田浩子さん（新潟大学、長岡造形大学講師・健康運動指導士）



立松さんと会田から、食堂を立ち上げた動機が話され、村山さんからは食の貧困の実態と栄養メニューの提案、小池さんからは地域福祉、運営資金への具体的な政策が不可欠との提案、篠田さんからは地域の人々との交わりの必要性和家族の生活のありようへのアプローチとして、健康づくりとシステム作りへの提言がありました。

＜できる支援とは何か？＞

教育現場や地域で多世代のふれあいを通じ、物質的貧困以外にも家族の関係への支援や心の貧困、学力や健康への関心を子供のころから解決できる仕組みづくりが必要。そのために大人も含めた地域の居場所作りが重要であると提案されました。

◆会田 きよみ



7/3開催「みんなの集い」

7月3日（日）午後1時30分から開催される「みんなの集い」の講師 佐々木勝則さんとコンサートの演奏者 日比野則彦さん愛子さんのプロフィールを右のとおりご紹介します。

当日は、ご近所の方等をお誘いの上多数の方がご来場いただきますようお願いいたします。

なお、当日のバザーは8月21日に延期となりましたので、お知らせいたします。

◆講演 講師 佐々木 勝則さん

日本福祉大学卒業後、精神科病院のソーシャルワーカー、老人保健施設の運営等を経て、現在、社会福祉法人桜井の里福祉会で、特別養護老人ホーム・認知症グループホーム・デイサービス・小規模多機能型居宅介護、住居型有料老人ホーム等の運営を行なっている。認知症の人を始め、障害を持った人が、社会で主体的に生活を送っていくための生活支援のあり方、地域づくり、介護サービスづくりを行っている。介護サービスは「利用者本人のもの」であり、本人の権利が守られ、本人が使いたいと思うものでなければならない。そして法人は、地域の共有財産であり、住民にとってその法人があることにより「実利益があること」が大切であると考えている。

◆演奏者 日比野 則彦さん

大阪大学人間科学部卒、バークリー音楽院ジャズ作編曲科卒。ゲーム会社のコナミにて音楽制作の経験を積む。2005年2月、ジェム・インパクトを設立。作曲、サウンドプロデューサー、サクソ奏者の3つの側面で、活動を行っている。2009年、音楽が人間に及ぼす精神的、音響学的影響を研究する「日比野音療研究所」を設立

◆演奏者 日比野 愛子さん

洗足学園短期大学声楽科にて学ぶ。シュトゥッツガルト音楽大学マスタークラス修了。ミラノ音楽院修了。二期会準会員。

6月、7月の会員会議

開催日 6月 9日(木)、 6月23日(木)
7月14日(木)、 7月28日(木)

会場 上新栄町集会所

時間 午後7時から8時30分

※当日は会場費 200 円が必要です

※参加はご自由ですので、ご興味のある方、一緒に活動していただける方は、ぜひ一度ご参加下さい

6月9日(木)は講演会です

講題：『すべての命が肯定される世界に』

講師：鈴木絹江・匡さん

会場 上新栄町集会所

時間 午後7時から8時30分

※当日は参加費500円が必要です

講師プロフィール

1951年福島県いわき市生まれ。母も本人も「ビタミンD抵抗性くる病」で貧しかった。小学6年生から養護学校の宿舎に。日本刺繍の会社に就職、退社。障がい者運動の中で、当時高校生だった夫と出会う。夫と有機農業を始め、電気・ガス・水道の無い暮らしを8年。

また、インド・ネパール・バングラデシュ・アメリカを5か月半の放浪の旅。帰国後「NPO法人ケア・ステーションゆうとびあ」を設立し理事長。

楽しいバザーのご案内

「喫茶けやき」で開催するバザーのお知らせです。

開催日：8月21日(日)

**午前10時～午後2時まで
喫茶けやき・上新栄町集会所
日用品・手芸品・喫茶コーナー他**

《お願い》

お家に眠っている不用品等（衣料品以外）ございましたら、お持ちいただければ幸いです。

お持ち込みの期日：8月7日(日)まで
喫茶けやきへ（10：00～15：00）

会員の皆様からの声を 次号から掲載していきます

そのトップバッターは、青木 美奈子さんです。

皆様は、孤高の人としてマイペースで生きたいですか？ それとも、家族や仲間と和気あいあいと楽しく生きたいですか？ 状況によりどちらもありませんね。しかし、人間は、絶対にひとりでは生きられない。私も周囲の方々に教えられ、支えられながらここまで生きてきました。今後も、人間していれば、助けや支えを必要とすることは避けられない現実でしょう。その時は甘んじて助けを求めます。

しかし、今微力ながら何とか動ける自分があります。設立準備会のメンバーに加えていただき、誰でも集まれる、地域の福祉拠点作りのための活動に参加でき、行く末を見守る機会を与えられるなんて、なんてありがたいことでしょうか！ 「最期まで地域で暮らしたい」、「その人らしく住み慣れた地域で生きる」理想的なキャッチコピーですが、誰かが動かなければ決して実現しません。無理せず、楽せず、時には孤高で、この地で生きるために、いざ行動です。

「けやき会」への思い

岡田 若子さん

私は数年前まで、障がいを持った年老いた親の介護を経験してきました。その介護を通じて実感したことは、人は誰もが老いていくもの、いずれは誰かの支えなしでは生きていけなくなるということでした。

誰もが老いは避けられないと、自らの老後にも不安を抱くようになり、どうしたら自分の住み慣れた町で、いつまでも生きがいを持ちながら楽しく過ごしていけるのだろうか、それまで悩んでいました。

そんな時私は、この「けやき会」と出会い、この会が目指す理想の地域づくりを考えることで、将来の夢を持つことができました。

地域の子どもや大人、そしてお年寄りがふれあい、お互いに支えあいながら生きていく。そんな理想の地域づくりを目指したい。

今は一人でも多くの皆様にご賛同をいただき、それをひとつずつ「カタチ」にして、いずれはこの大きな夢を実現したいと願っています。

けやき会設立準備会の フェイスブックができました！！

けやき会設立準備会のフェイスブックを作成しました。今後、イベントなどに関するお知らせは、広報に掲載する他、このフェイスブックにもアップロードしていきます。

個人でフェイスブックをされている方、個人ページから「社会福祉法人けやき会設立準備会」で検索しますと、当ページが閲覧できます。また、下記 URL からアクセスすることで、当ページが閲覧できます。

もし良ければ、友人、知人の方に拡散をお願いします。どんどん「いいね！」をクリックしてもらい、私たちの活動を広めていきましょう!!

社会福祉法人けやき会設立準備会フェイスブック URL
<https://www.facebook.com/社会福祉法人けやき会設立準備会-1779637735593488/>

～けやき会の理念～

誰しも、年をとっても、できれば自分の家で住み続けたいと望むのではないのでしょうか。しかし、体が不自由になり、今までの「自分の家で」がむずかしくなった時に利用する施設を「終の棲家」として、大事なものを持って「引越す家」と考えられる場にしたいと思っています。

また、デイルームでは、高齢者や子ども、障がいを持つ人等さまざまな環境にいる人々や、ボランティア、地域の人たちが立ち寄り、交流でき多様な人間関係による「共に生きる」というコミュニティを築きます。

「けやき会」は、地域への貢献としていろいろなニーズに応えられる拠点として存在する社会福祉法人を目指します。

設立準備会 代表 会田 きよみ

寄付ご協力をお願い

「夢」が一步一步確実に
「現実」に近づいています

社会福祉法人は、地域の福祉事業を行う非営利法人で、設立時に行政の認可が必要な法人です。設立時の条件である「自己資産を有する」という土地（750坪）については、5月26日に地主さんと売買契約を結ぶことができました。

また、現在、会員及び会員以外の多くの方から既に約1,570万円の寄付金が寄せられています。さらに、寄付金予約としてささえあい生協さん始め個人の方々からも6,100万円の予約申し込みがあります。

今年11月頃には、新潟市の介護事業の公募に応募する予定です。私たちの願いを実現するためには、まだ2,500万円ほどが必要になります。なにとぞ皆様のさらなるご協力とご支援をお願い申し上げます。

◇呼びかけ人一同

寄付金振込口座
郵便局 口座番号：00580-0-102549
「社会福祉法人けやき会」設立準備会
代表 会田きよみ

第四銀行 小針支店
普通預金：口座番号 1345989
社会福祉法人けやき会設立準備会
代表 会田きよみ

※大光銀行、ろうきんでも受け付けております

～編集後記～

近況までですが、2年くらい前から山菜取りにハマっています。小学校時代の学童野球の監督から誘われたことがキッカケでした。この春は、こしあぶら、たらん芽、わらび、みずな等を探りました。目標は、ぜんまいを採れるようになることです。どなたか山に詳しい方、教えていただけたらありがたいです。 ◆ 板垣 龍介

ある晴れた日、療育の夢と希望の星「ばすてる」（小児科クリニック）にお邪魔しました。

東條先生のような豊富なご経験と暖かい視点をもっている方が思いを持って開設して下さったことはかなり心強いものです。

カラフルな遊具や、大きな動物がたたずんだり、自由に絵が描ける場所があったりとそこはまるでワンダーランド。

この環境なら 重度の障害をもつわが子も 楽しみながら 通えそう。

金子みすずの詩「みんなちがってみんないい」は現実には絵空事？

それでも このクリニックにはあるのではないかと 今度探しに行く予定です。 ◆土屋 容子